



個人投資家様向け
会社説明会資料

2021年8月21日

菱電商事株式会社



1. 当社グループの概要
2. 業績動向と通期見通し
3. 今後の経営戦略
4. 株主還元と株価推移



1. 当社グループの概要



当社の概要



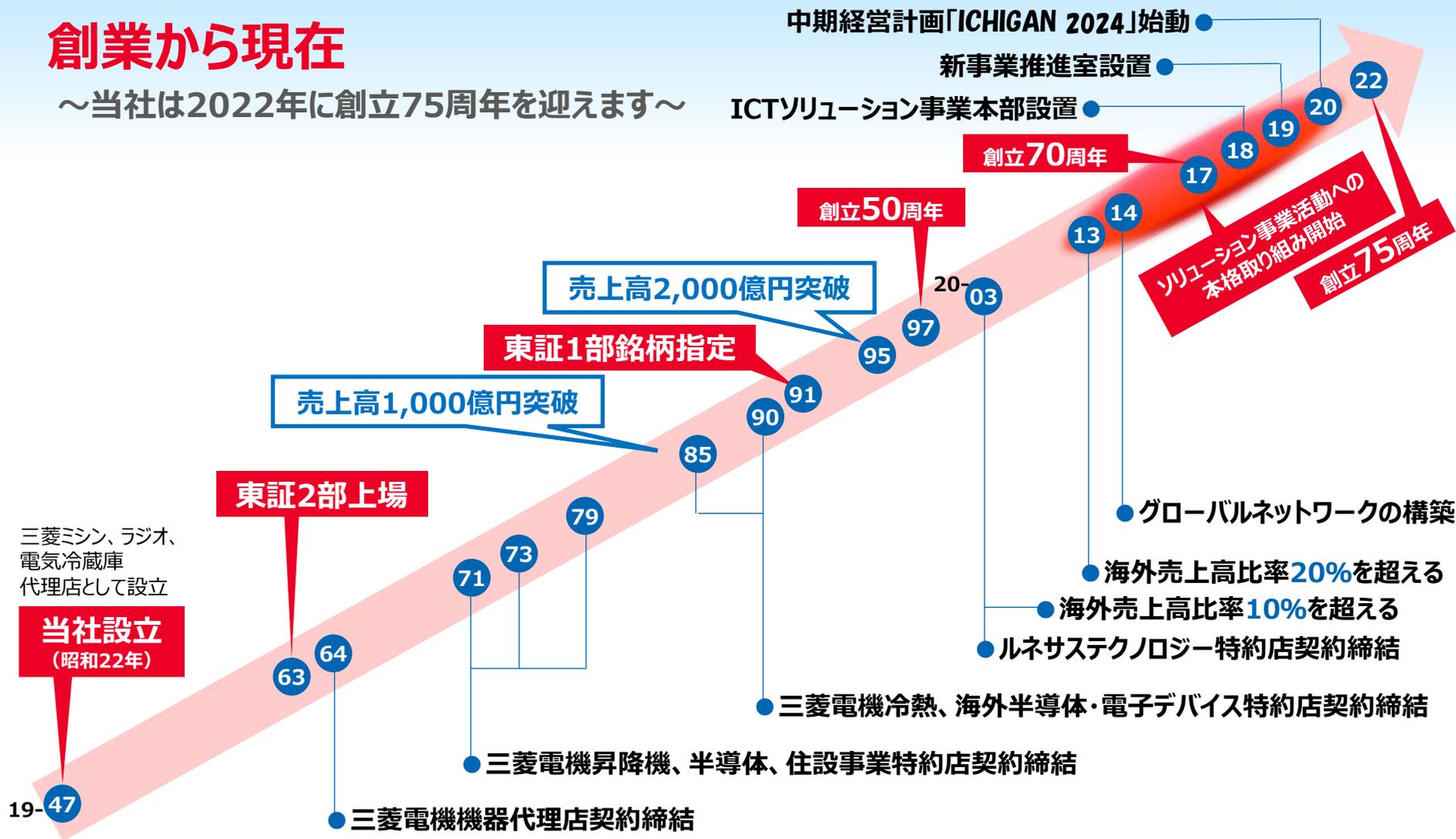
商号	菱電商事株式会社 (Ryoden Corporation)
設立	1947 (昭和22) 年4月22日
本社	東京都豊島区東池袋3-15-15
資本金	103億3,429万8,875円 (2021年4月1日現在)
株式	東京証券取引所市場第一部上場 <コード:8084>
代表者	代表取締役社長 正垣 信雄
従業員数	<ul style="list-style-type: none">● 連結 : 1,289名● 単体 : 1,082名 (ともに2021年3月末現在)
売上高	<ul style="list-style-type: none">● 連結 : 1,968億円● 単体 : 1,759億円 (ともに2021年3月期)
関係会社	<ul style="list-style-type: none">● 子会社 : 17社 (連結10社 + 非連結7社)● 関連会社 : 1社 (持分法適用)● その他の関係会社 : 1社 (三菱電機株式会社)

当社グループの歩み



創業から現在

～当社は2022年に創立75周年を迎えます～

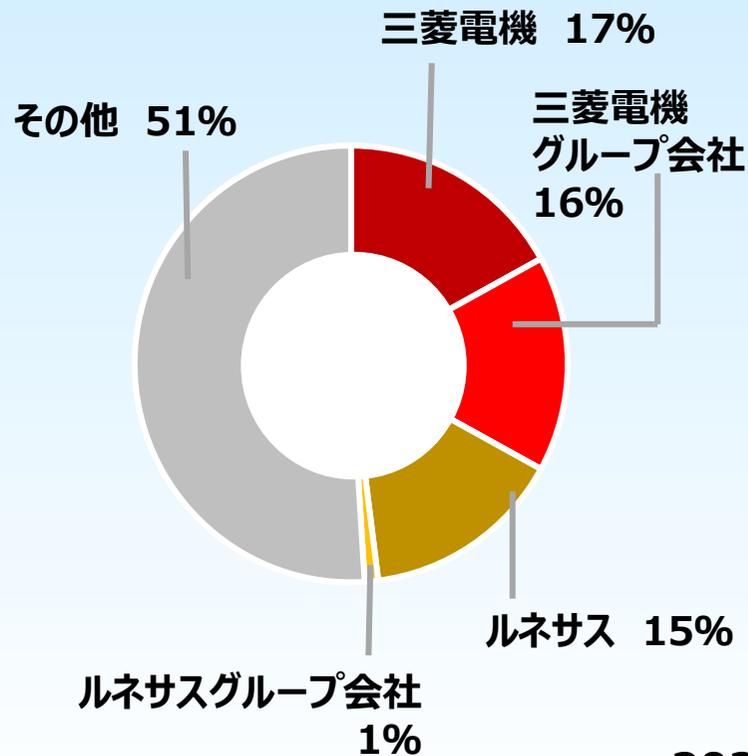


仕入先・販売先の状況

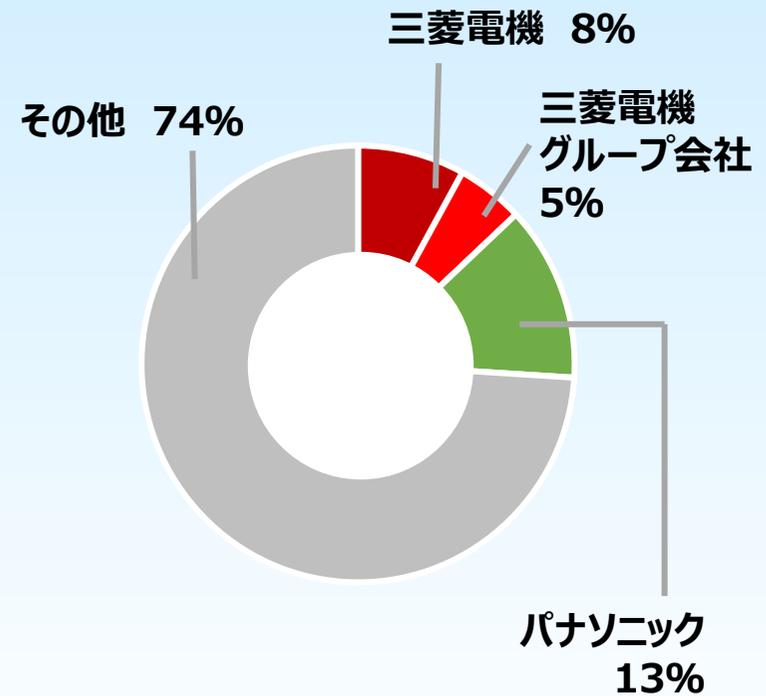


仕入先では三菱電機系とルネサス系、販売先では三菱電機系とパナソニックが比較的大きな取引シェアを持つものの、その他の構成比がともに過半を占める

仕入先別の構成比（仕入額ベース）



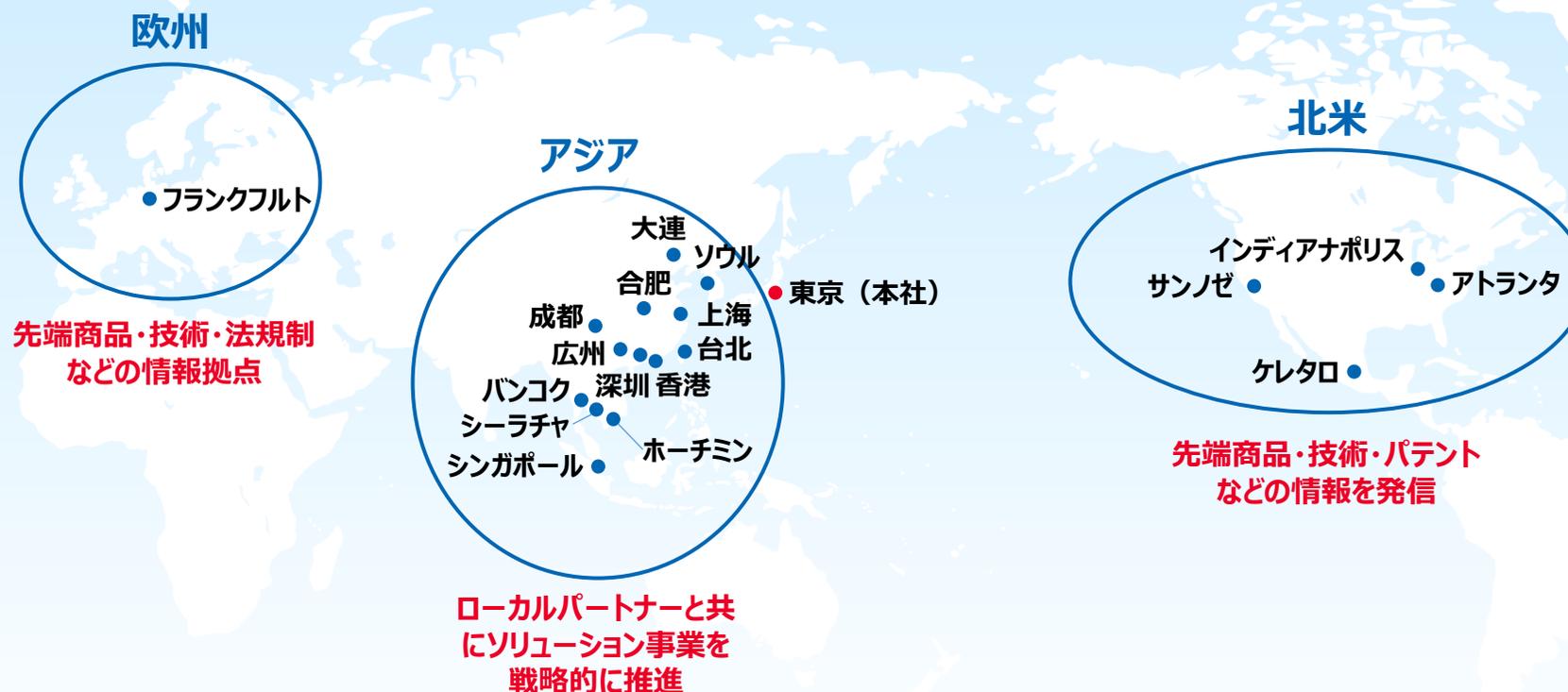
販売先別の構成比（販売額ベース）



2021年3月期

グローバル展開の状況

海外9カ国・地域に設置した現地法人を中心に、ブランチ等を含め計18拠点を展開
域内市場を俯瞰した戦略一元化と強固なネットワーク間連携により、グローバル体制を構築



(2021年8月1日現在)

セグメント事業内容

FAシステム品、冷熱ビルシステム品、ICTシステム品、エレクトロニクス品の仕入・販売
および各事業に付随するサービスを提供

セグメント別 売上高（外円） および営業利益（内円）

エレクトロニクス

【売】 1,262億円 / 64.1%
【営】 16.1億円 / 43.9%

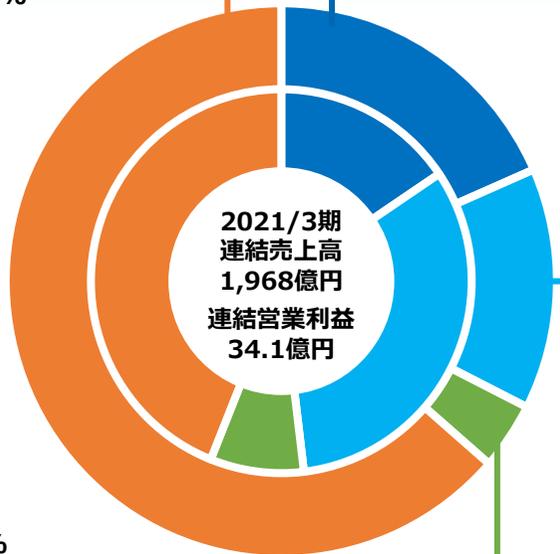
- 電子デバイス
- 産業システム など



- スマートアグリ
- ヘルスケア
- 情報通信 など
 - ・情報ソリューション
 - ・セキュリティソリューション
 - ・画像・映像ソリューション

ICTシステム

【売】 76億円 / 3.9%
【営】 2.9億円 / 8.0%



【売】 357億円 / 18.1%
【営】 5.7億円 / 15.6%

FAシステム

- FA機器システム
- 産業メカトロニクス など



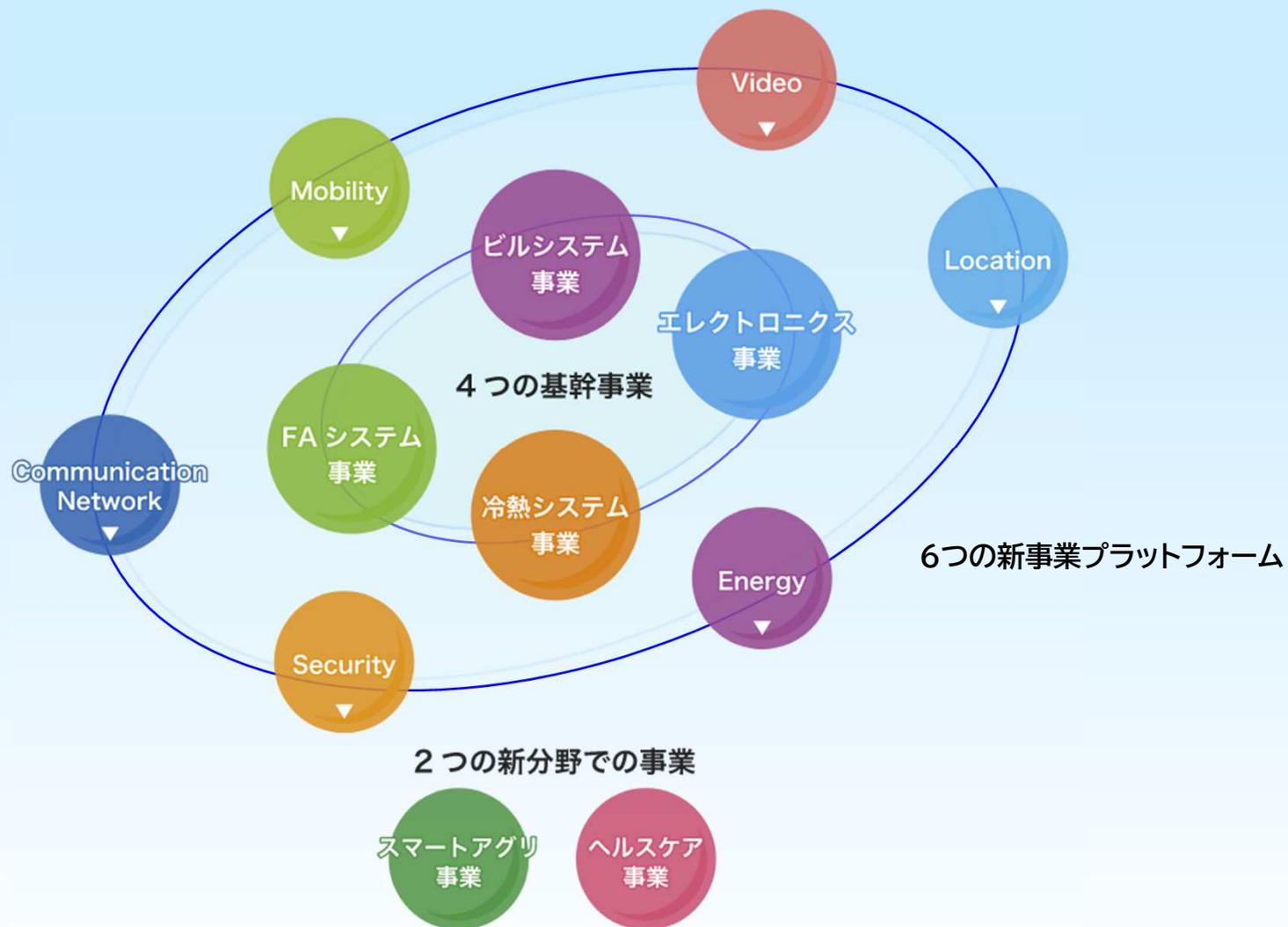
- 空調設備
- 住設設備
- 低温応用設備
- クリーンルーム設備工事
- 産業冷熱システム
- ビルシステム など

【売】 272億円 / 13.9%
【営】 11.9億円 / 32.5%

冷熱ビルシステム

※売上高は億単位で切り捨て、営業利益は千万単位で切り捨て
※パーセンテージは構成比を表す

RYODENの幅広い事業領域





4つの基幹事業



FAシステム事業



冷熱システム事業



ビルシステム事業



エレクトロニクス事業

FAシステム事業

冷熱システム事業

ビルシステム事業

エレクトロニクス事業



シーケンサ



ACサーボ



産業用ロボット



レーザ加工機



ルームエアコン



パッケージエアコン



モジュールチラー



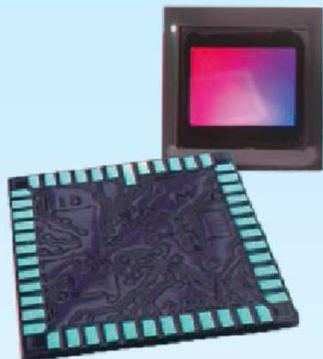
機械室レスエレベーター



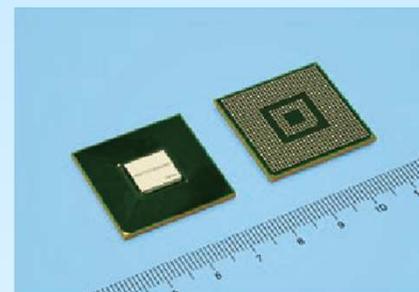
太陽光発電設備



入退室管理システム



CMOSイメージセンサ



車載情報端末向け
SoC「R-Car M2」



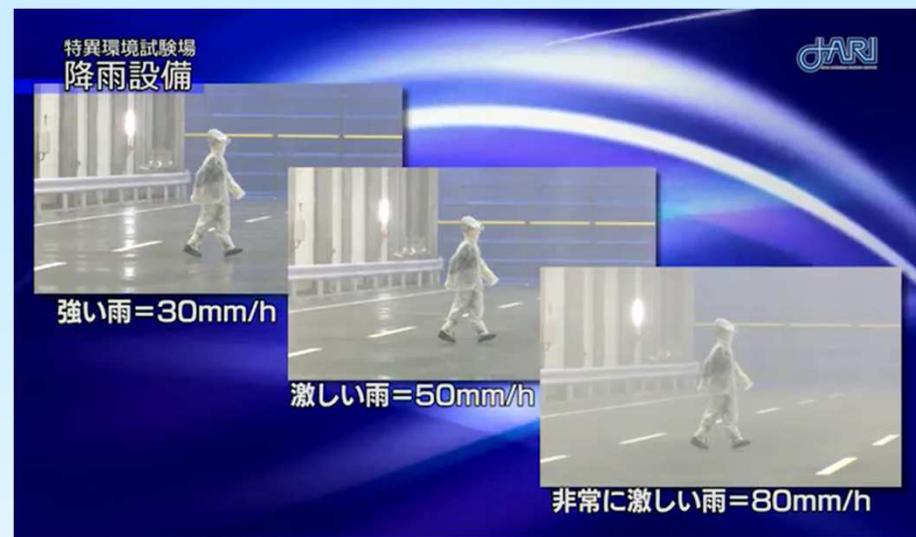
SICパワーデバイス



リベット コンデンサ

付加価値事業の実例①

JARI : 自動運転特異環境試験場



付加価値事業の実例②

クリーンルーム（無菌室）

躯体構築から空調設備、高性能フィルターなど
すべてをワンストップでご提供可能



半導体製造クリーンルーム

生物／科学実験用クリーンルーム

清浄度レベル保持

給排気設備

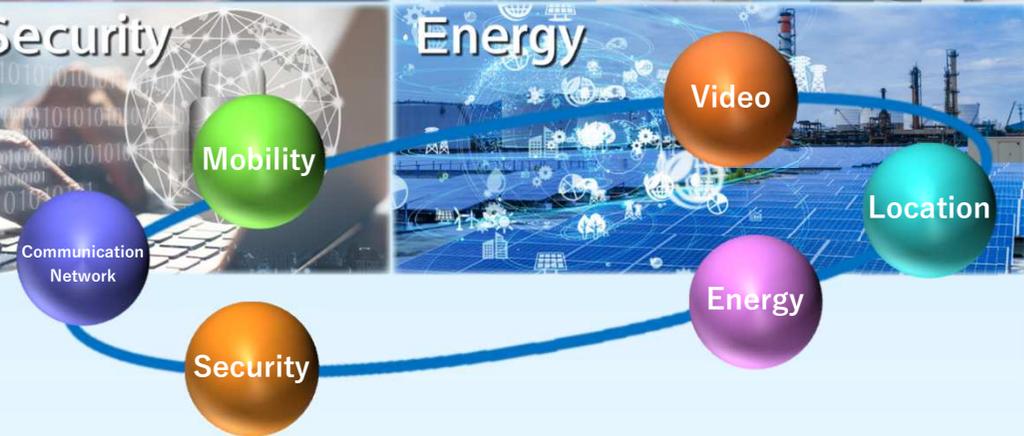
環境条件管理（温度・湿度・圧力等）

6つの新事業プラットフォーム



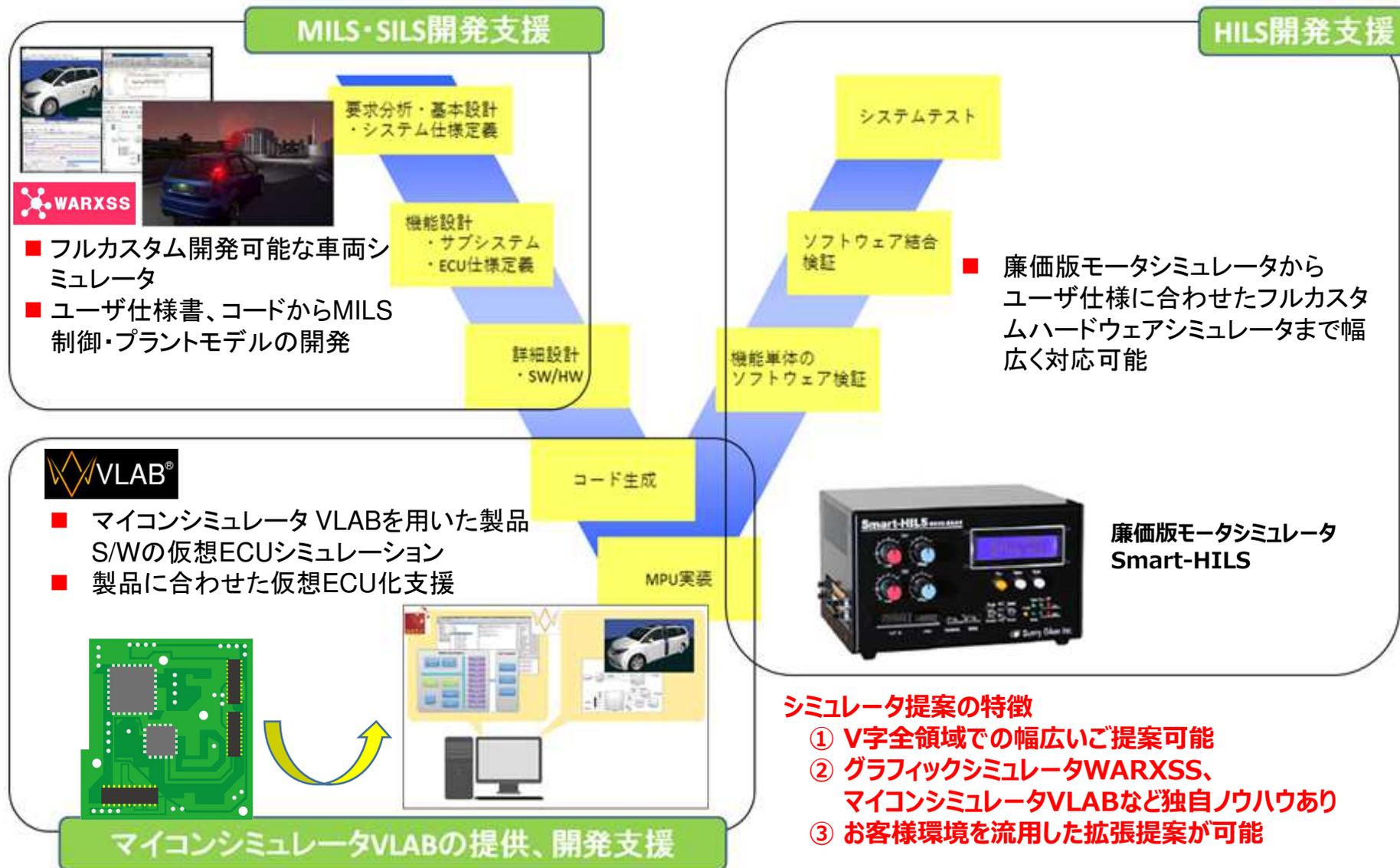
Mobility
Location
Security

Video
Communication Network
Energy



モビリティ向け 仮想環境ソリューション

～開発工数削減：検査・解析などをバーチャルで～



◆ FlaRevo Network



※FlaRevoは当社の登録商標です。

“Flarevo CONNECT”…データと映像の連動によりビジネス価値を生む



「現場とつながる。現場が見える」

- ・取り逃したくない瞬間や、保存しておきたい映像の取得を自動化
- ・パソコン映像も、カメラ同様にライブ再生・録画が可能

従来の監視カメラでは成しえなかった新たな価値を、お客様に提供

“FlaRevo CLIP”…更なるビジネスカメラ映像の活用を推進



「ビジネスカメラ映像は企業の財産」

- 複雑な操作は不要で自動で必要な情報を長期保存
- 映像は、専用のWEBページを通じて共有が可能
- お客様のご指定の環境で稼働（オンプレミス）

企業にとって財産であるビジネスカメラ映像をより活用できる仕組みを提供

RFIDタグデータネットワークシステム



◆ ATLAS-Things

※ATLAS-Thingsは当社の商標登録です。

RFID、バーコードに代表される自動認識技術を活用したクラウドサービス

- ▶ 自動車業界、製造現場でモノの出入（動態管理）が見える化
- ▶ 梱包単位で階層別管理を実現（ISOなど国際規格に準拠）
- ▶ いつでも、どこでも安全なシステム環境を実現

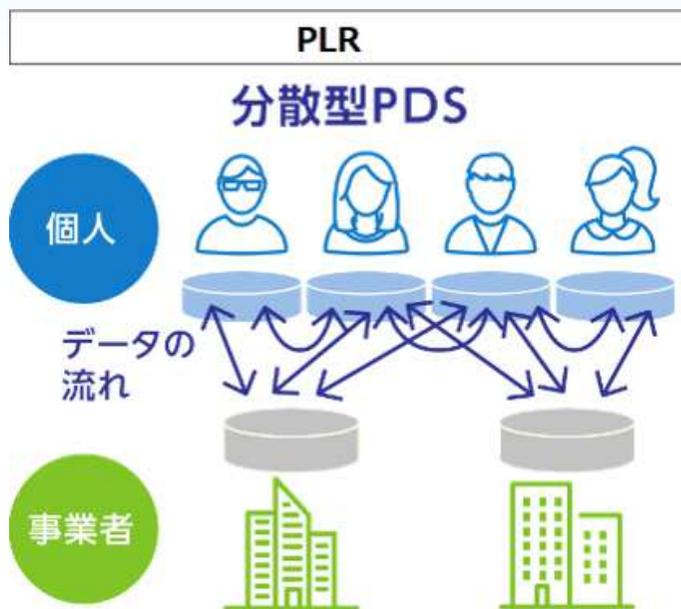


PLR (Personal Life Repository)

東京大学大学院発のアセンブローグ社が事業化に取り組んでいる分散型個人情報システム

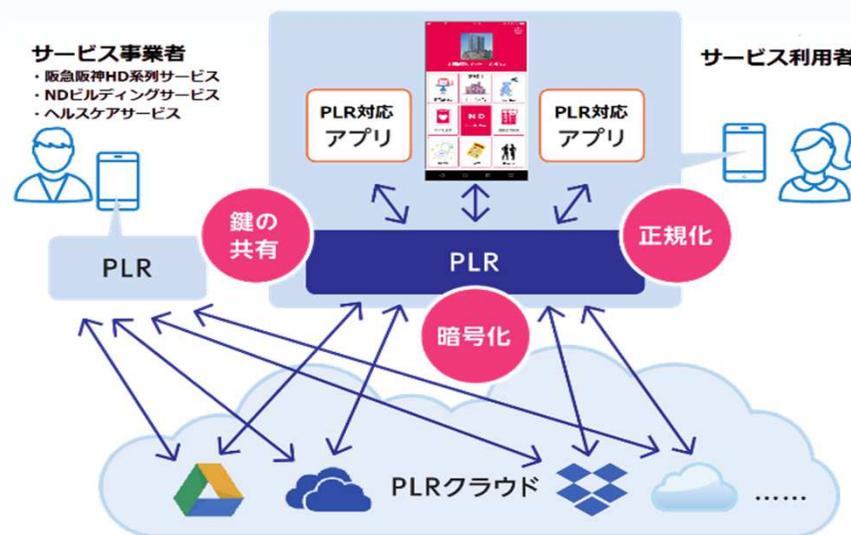
特徴① 分散型のパーソナルデータストア

- i. データ漏洩の危険性や保守管理の負担が少ない
- ii. 個人情報に本人に集約されることでデータの価値が騰がる



特徴② パブリッククラウドの活用

個人データの開示や停止は本人の意思で決定可能



Energy (クラウド型統合管理システム)

◆ REMCES (レムセス)

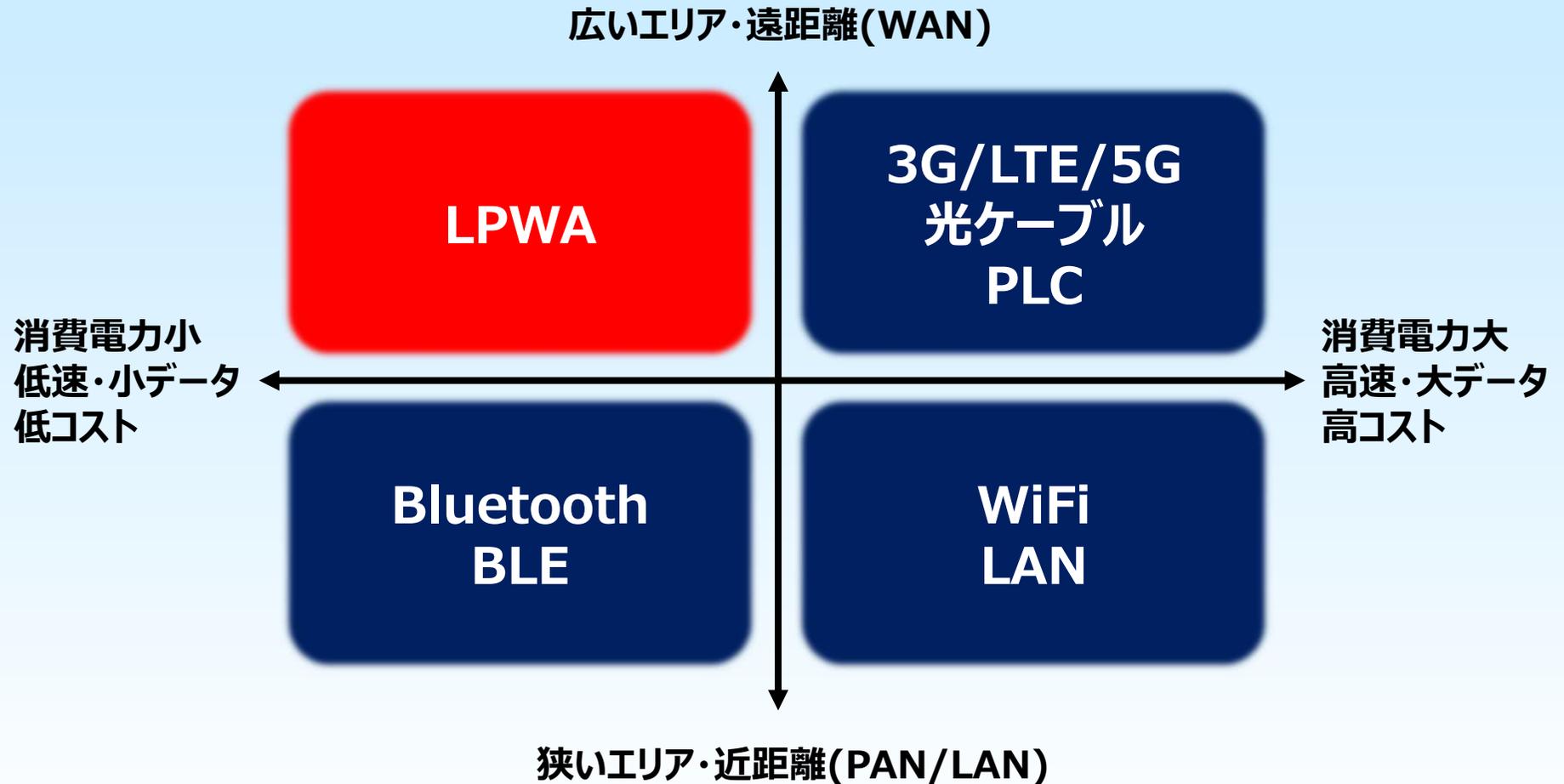
 **Remces** はモノ作りから人々の暮らしまでをサポートする
RYODEN オリジナルのIoTプラットフォームです。

- 特徴
- ・ クラウドシステム採用による遠隔可視と高い拡張性を実現
 - ・ 機器、環境情報の一元管理と制御による省人・省力化
 - ・ オープンインターフェース採用によりマルチベンダー接続に対応



Communication Network (LoRa通信)

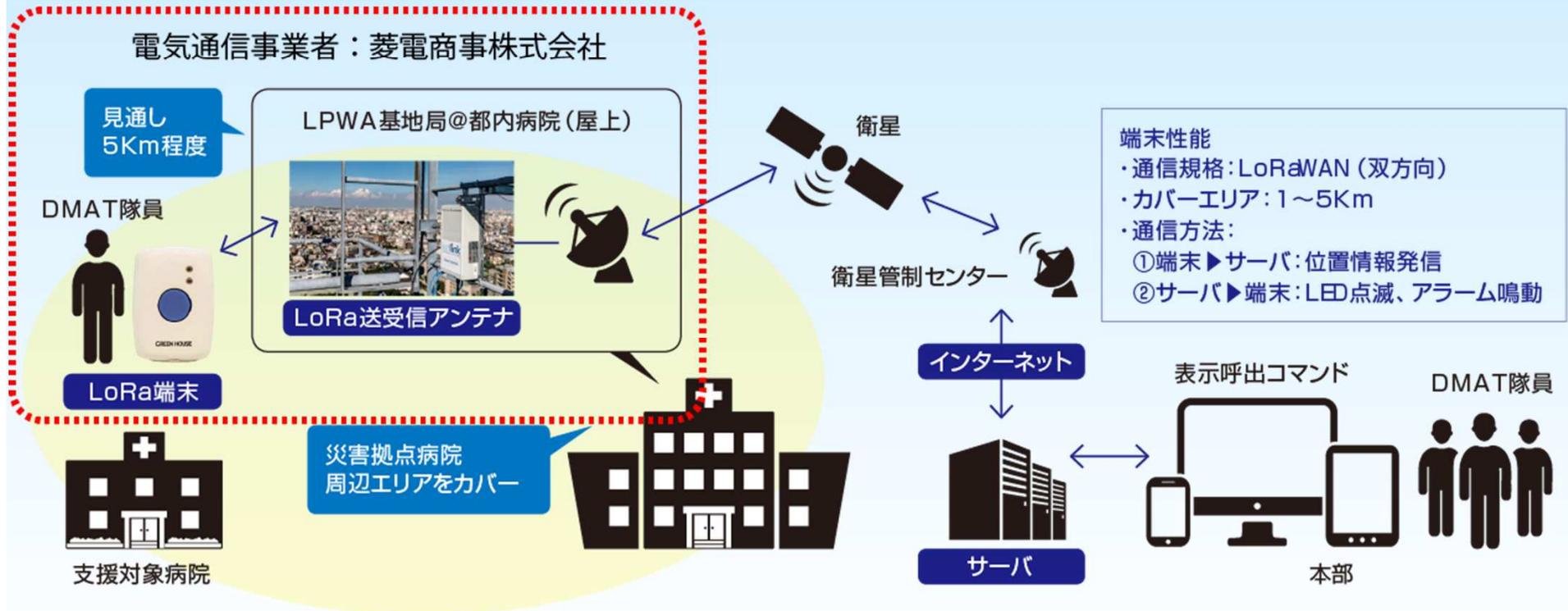
◆注目を浴びるLPWA (Low Power Wide Area Network)



Communication Network (LoRa通信)

◆ 電気通信事業者としての活動例 (大規模地震時医療活動訓練)

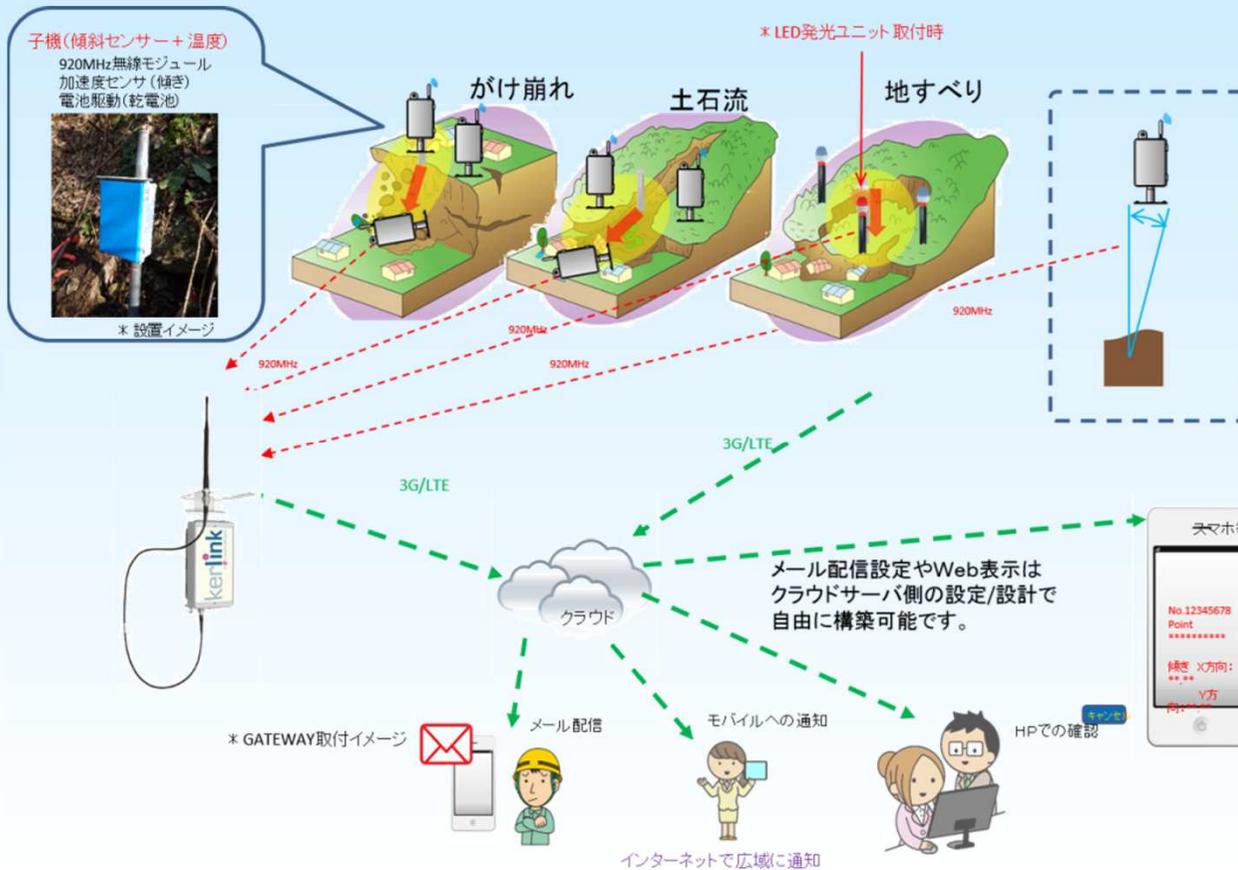
LPWA 通信事業者として 「大規模地震時医療活動訓練」に参加



Communication Network (LoRa通信)

◆ LoRaWAN™活用した法面アプリ

LoRaWAN™活用による防災・予兆管理



【比較】

従来の自動観測システムとLoRaの通信技術による観測のイメージ



2つの新分野事業



スマートアグリ事業

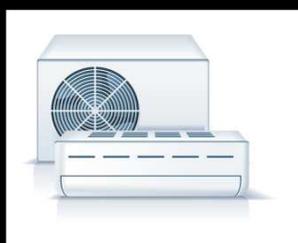


ヘルスケア事業

スマートアグリ事業①：RYODENスマートアグリ事業



「冷熱システム」「FAシステム」「電子デバイス」の製品・ノウハウを植物工場向けに最適化しIoTシステムに統合、運営効率の高い植物工場システムを提供。



冷熱システム



FAシステム



電子デバイス



- 植物工場向けシステム機材開発 企画販売製造
- 植物工場IoTシステム開発
- 植物工場企画設計 元請専門施工

スマートアグリ事業②：実績



「機器システム開発販売・専門施工で累計80億円を突破！」

2018年～2019年

2019年～2020年

～2017年

富士山グリーンファーム(株)殿



静岡県富士市
日産1.2t 2017年12月竣工
既設建屋利用型

西濃ホールディングス
東海西濃(株)殿



岐阜県土岐市
日産1.5t 2019年6月竣工
新築

国内最大級

三菱ガス化学(株)殿
MGCファーマックス(株)殿



福島県白河市
日産2.6t 2019年10月竣工
新築

世界最大級

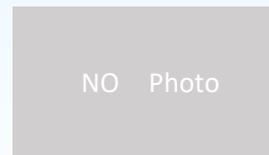
彩菜生活合同会社殿 東京電力エナジーパートナー殿
芙蓉総合リース殿



静岡県藤枝市
日産5t 2019年11月着工
2020年6月竣工
既設建屋利用型

国内最大級

(株)ベジノーバ殿 東芝プラントシステム殿



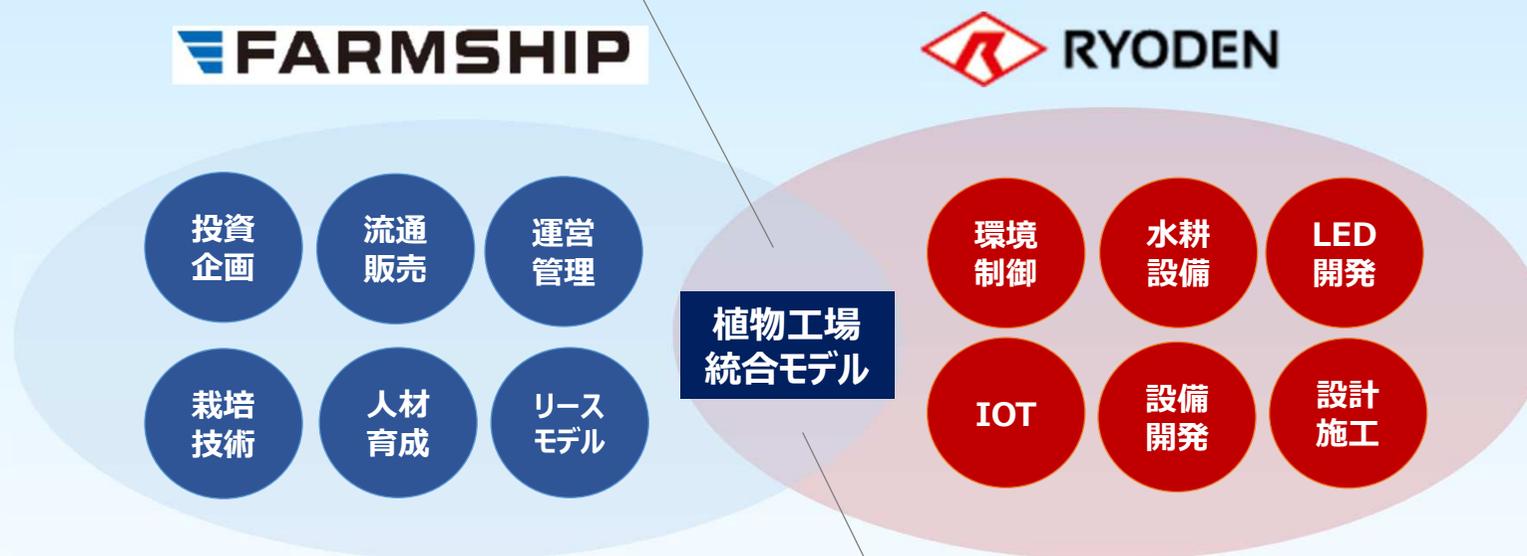
埼玉県加須市
日産3t 2020年3月着工
2020年9月竣工
既設建屋利用型

スマートアグリ事業③：協業事業モデル

「システム・機材・施工分野で業界トップの当社と植物工場野菜流通トップのファームシップ社による協業事業モデルを実現」

他社資本によって大規模植物工場投資を実現する事業提案モデルを両社で確立。

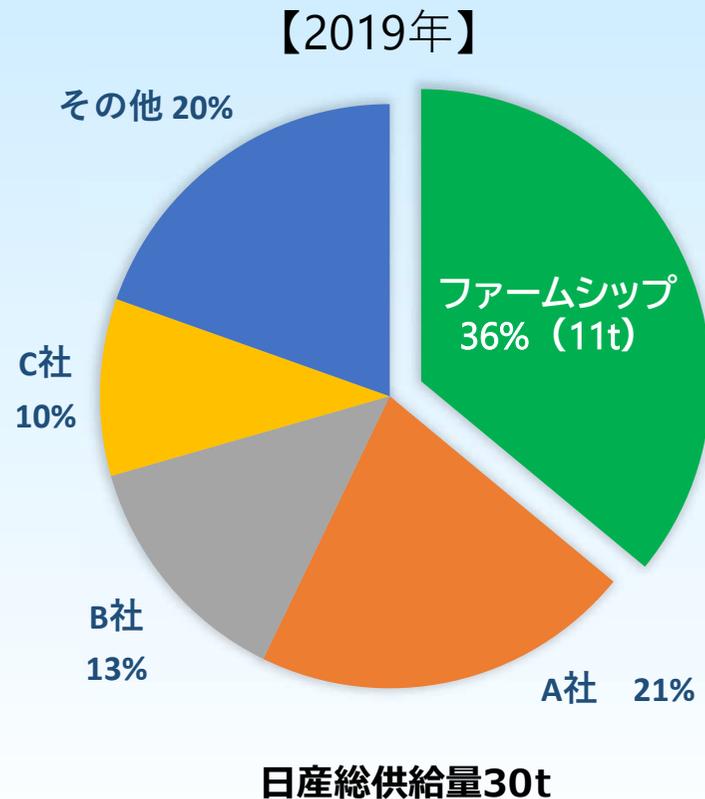
植物工場のシステムのメーカー機能



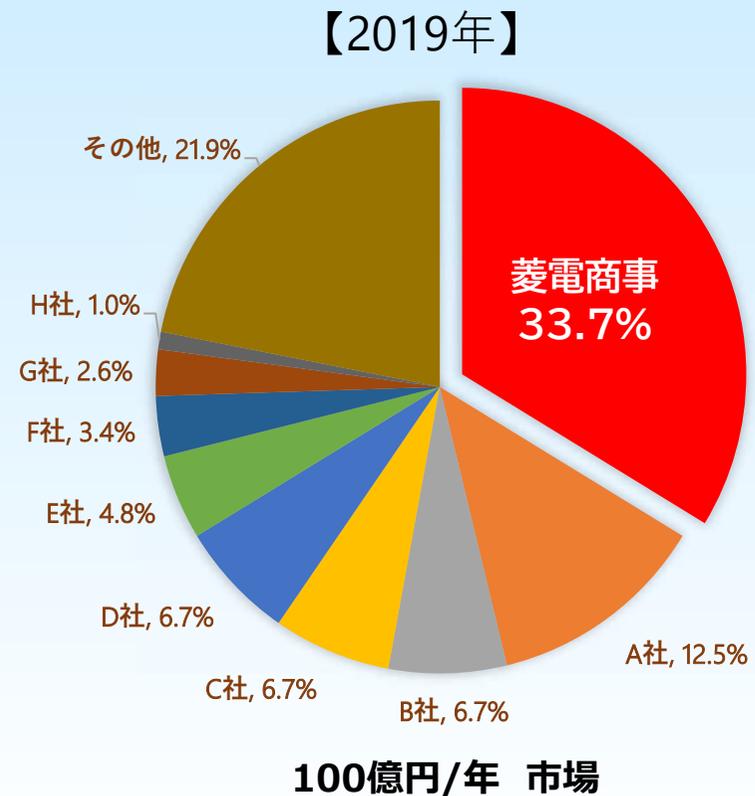
植物工場事業投資におけるソフトとハードを連結し、差別化と実用性の高い提案

スマートアグリ事業④：植物工場市場動向

1. 植物工場有力事業者シェア



2. 設備機材施工シェア



出典：富士経済農林水産ビジネス2020年版（抜粋）

スマートアグリ事業⑤：協業事業モデル

植物工場野菜の生産・販売、次世代農業モデルの開発を行う RYODEN×ファームシップ社の合併新会社「ブロックファーム合同会社」を昨年10月に設立

1. 会社概要

1. 商号	ブロックファーム合同会社 英語表記 BlockFARM,inc.
2. 設立	2020年10月14日
3. 資本金	1000万円
4. 出資比率	菱電商事株式会社60% 株式会社ファームシップ40%
5. 従業員	社員10名 パート約100名
6. その他	農地所有適格法人

2. 施設概要

所在地	静岡県沼津市
規模	日量3トン (法蓮草16万苗換算)
面積	敷地20000㎡ 建屋9000㎡
栽培方式	閉鎖型人工光水耕栽培
新規雇用	100名以上
竣工	2022年3月

3. 特徴

- 1.閉鎖型植物工場では**世界初**の法蓮草を主とする軸物野菜の量産工場
栄養価が高く指定品目野菜である法蓮草の**完全周年栽培**を実現する。
- 2.自然エネルギー活用 全量自家消費メガソーラを併設
- 3.新開発・循環型環境制御システムにより使用電力を**従来比50%削減**
- 4.**加工冷凍設備の導入**により付加価値を拡大





2. 業績動向と通期見通し



決算サマリー（連結）



	2020/3期 (百万円)	2021/3期 (百万円)	増減率 (%)
売上高	230,087	196,841	△14.4
売上総利益	25,428	21,843	△14.1
営業利益	5,559	3,415	△38.6
経常利益	5,758	3,653	△36.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,860	2,343	△39.3

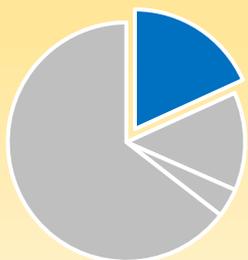
セグメント別の業績動向 1/4

■ 2Q ■ 通期 — 利益率

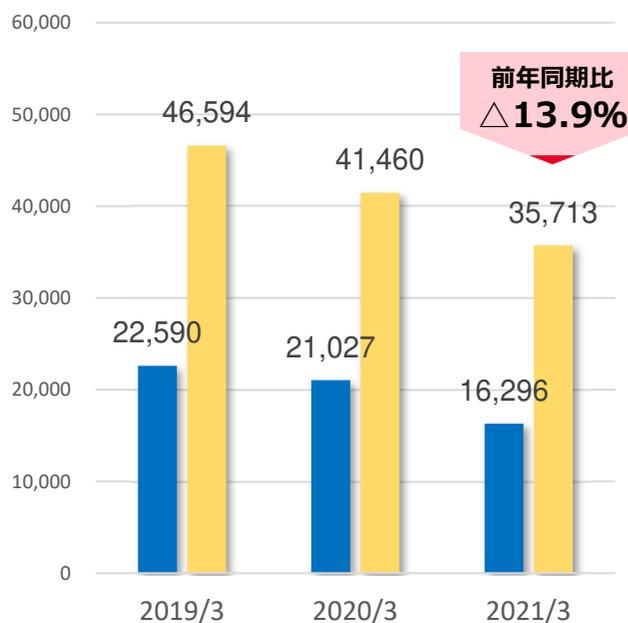
FAシステム

2021年3月期
売上高構成比

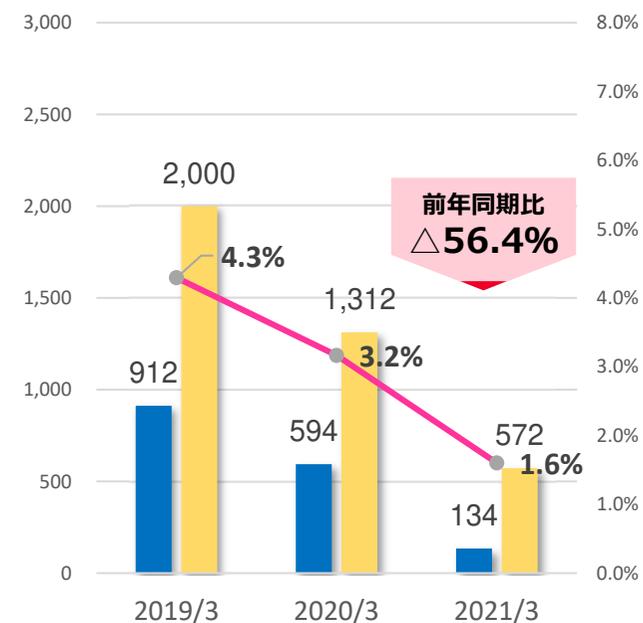
18.1%



売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



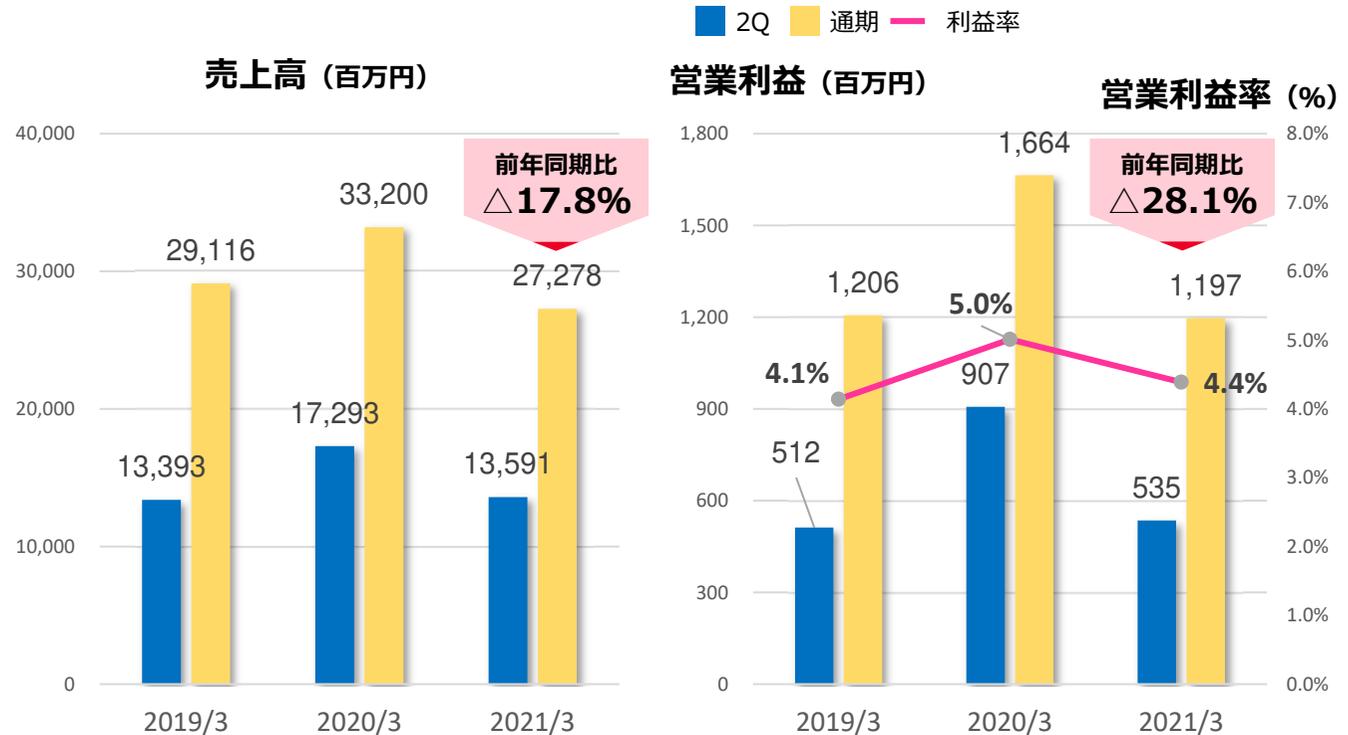
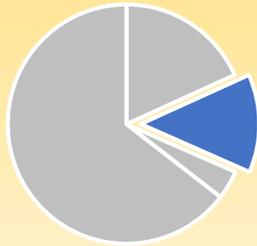
主なポイント

- 半導体製造装置関連、工作機械向けは年度後半から中国市場中心に好転
- 自動車関連を中心とした製造業向けが年間を通して低調推移

セグメント別の業績動向 2/4

冷熱ビルシステム

2021年3月期
売上高構成比
13.9%



主なポイント

- 年度後半における冷熱分野の換気需要や冷蔵冷凍分野の好調が下支え
- 建設市場の反動減及び新規案件延期・中止が影響

※2021/3期よりビルが冷熱ビルシステムに統合され、冷熱システムを冷熱ビルシステムへ変更しております。

セグメント別の業績動向 3/4

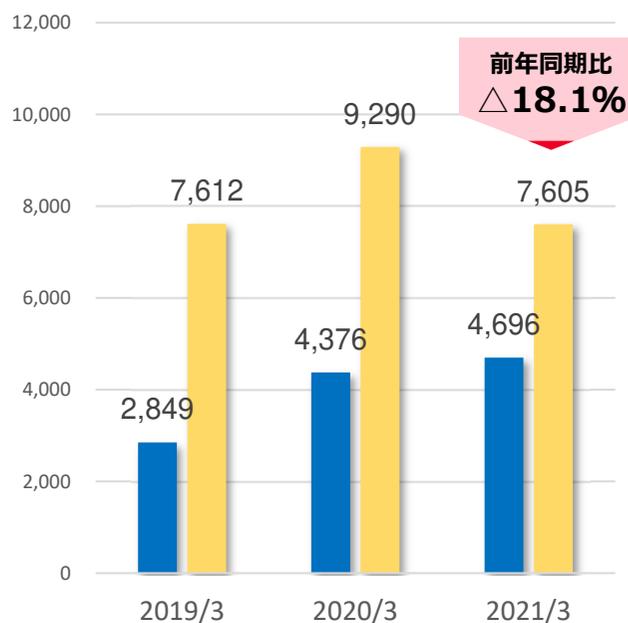
ICTシステム

2021年3月期
売上高構成比

3.9%

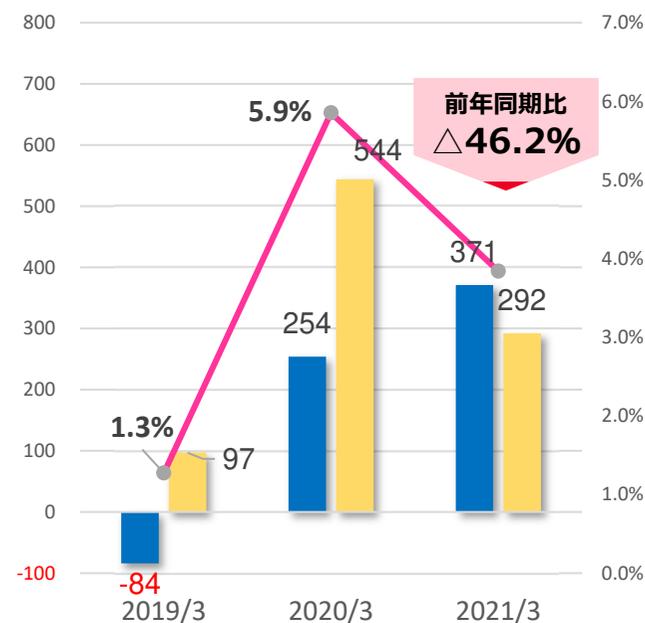


売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)

営業利益率 (%)



主なポイント

- ネットワークシステム分野はテレワーク用製品の引き合いが強く、コンポーネントビジネスは堅調推移も、モニタリングなどの工場管理システムの新規受注は低調に推移した
- ヘルスケア分野はサプライビジネスが増加基調も、病院内IT設備関連ビジネスは低調推移
- スマートアグリ分野は年度前半に大型植物工場案件の計上があったが、ビジネスモデル転換の準備期間と重なったことにより、低調推移となった

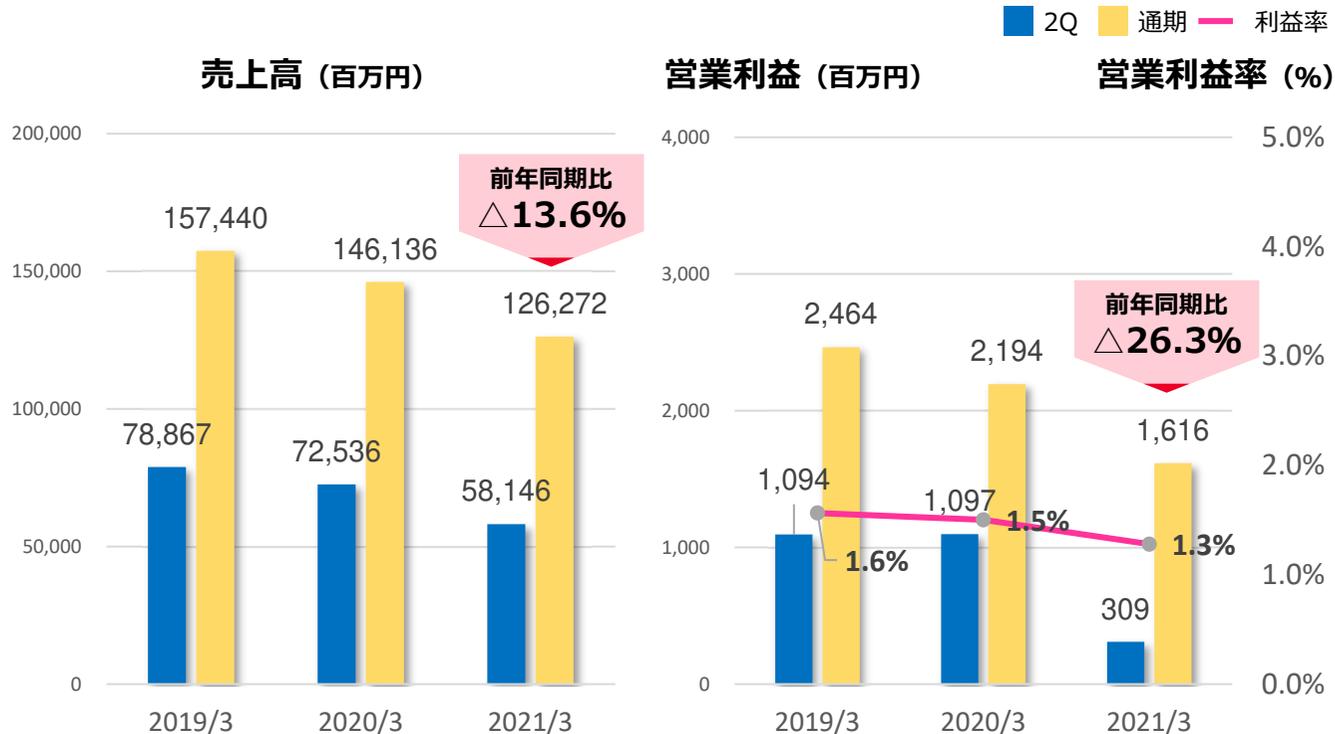
※ 2021/3期よりビルが冷熱ビルシステムに統合され、ICT施設システムをICTシステムへ変更しております。

セグメント別の業績動向 4/4

エレクトロニクス

2021年3月期
売上高構成比

64.1%



主なポイント

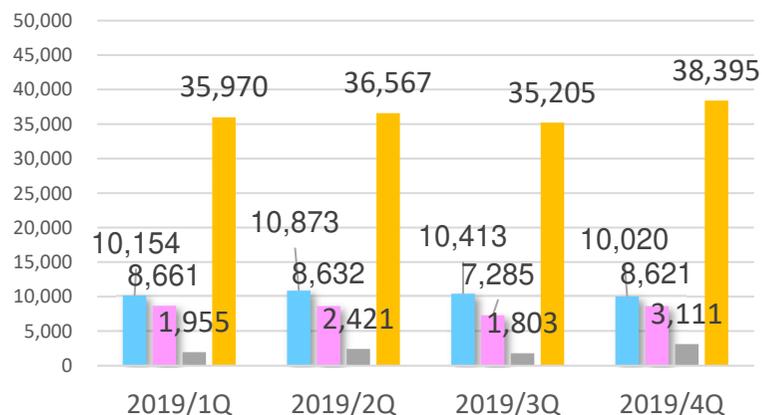
- 【国内】**
 - 自動車関連向けが後半回復傾向
 - 産業機器関連は、下期後半より中国向け中心に回復
 - 前半の低迷をカバーするには至らず減収
- 【海外子会社】**
 - 自動車関連向け回復基調も、前半の低調推移に加え、中国地域におけるエアコンなどの空調機器関連向けが天候不順の影響を受け減収

セグメント別の受注残高・売上高

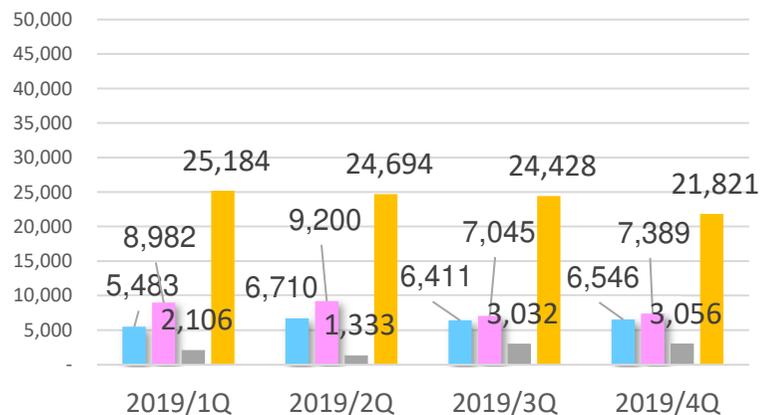


2020/3期 各Qの売上高・受注残高一覧

売上高 (百万円)

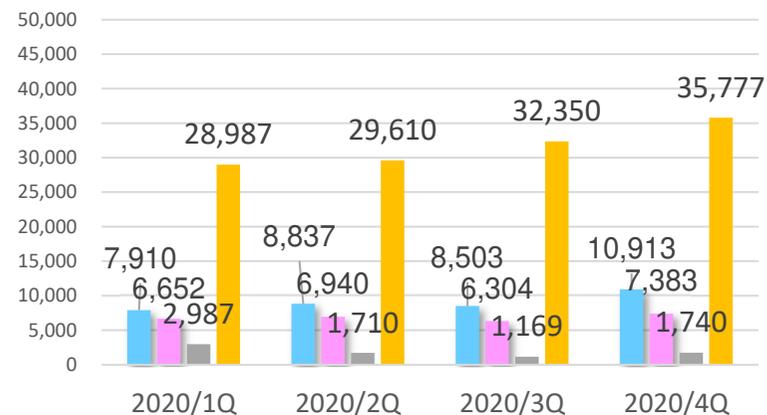


受注残高 (百万円)

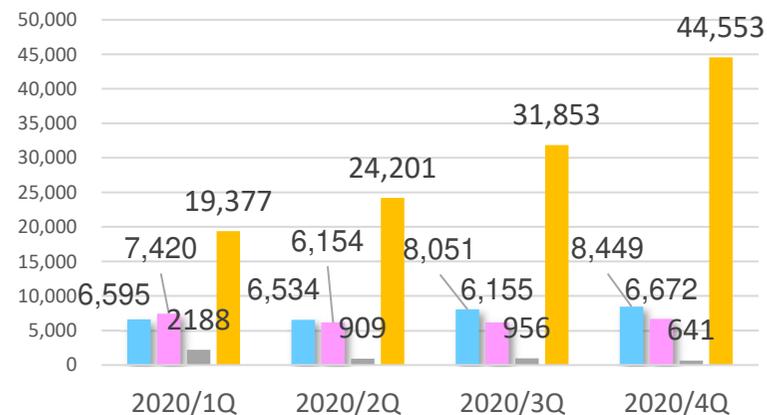


2021/3期 各Qの売上高・受注残高一覧

売上高 (百万円)



受注残高 (百万円)



2022年3月期 通期業績見通し（連結）

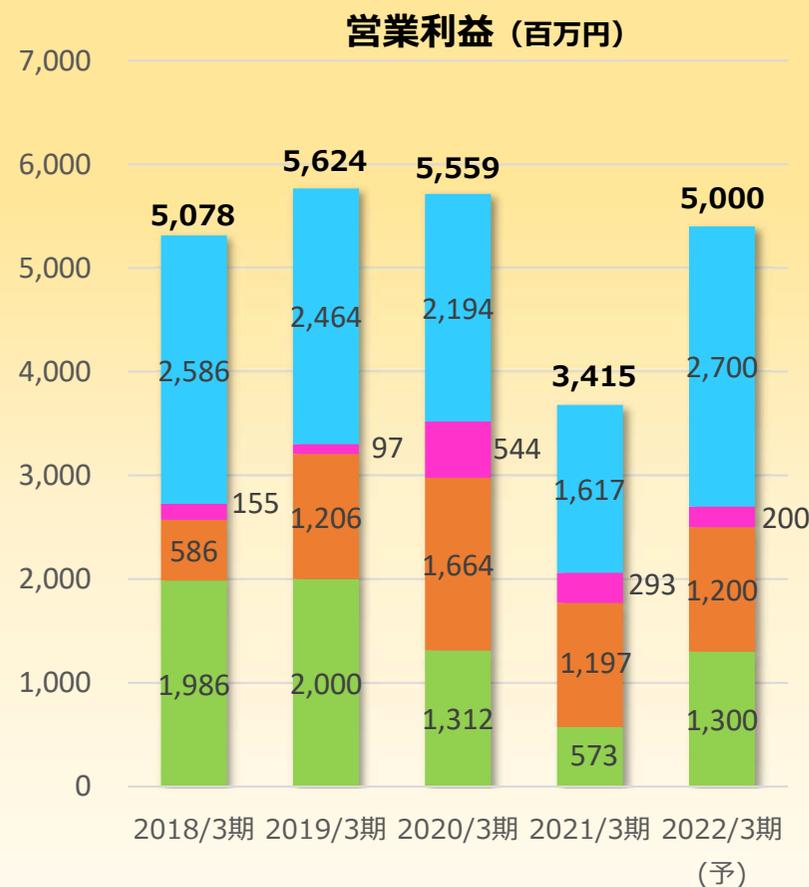
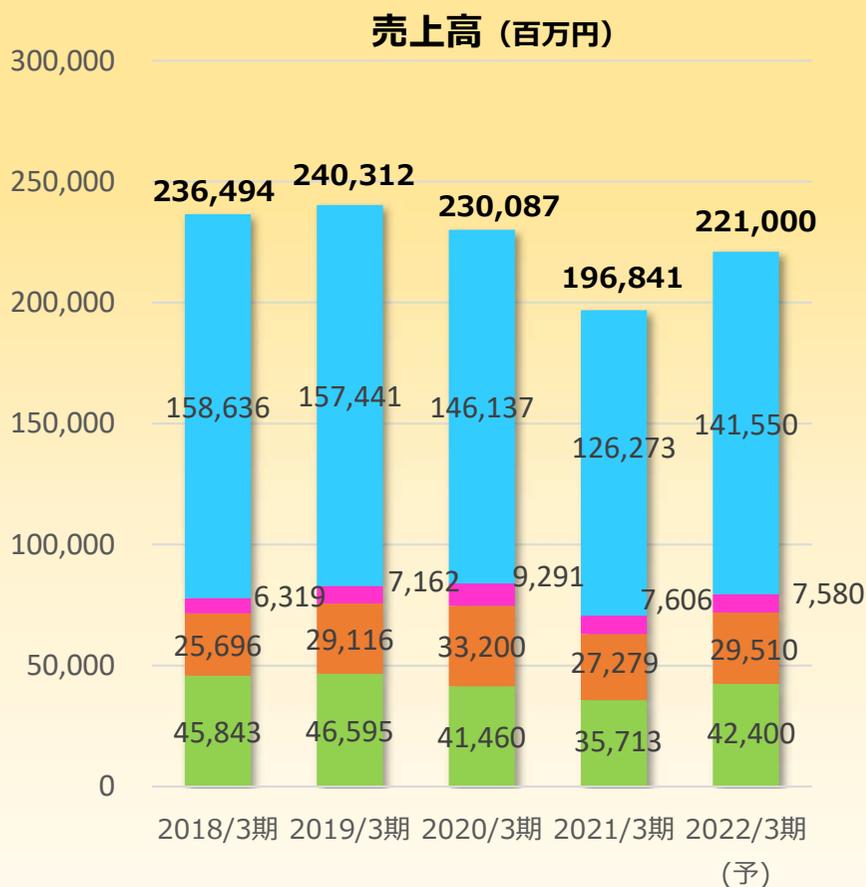


	2021/3期 実績 (百万円)	2022/3期 2Q予想 (百万円)	前年同期比 増減率 (%)	2022/3期 通期予想 (百万円)	前年同期比 増減率 (%)
売上高	196,841	107,000	15.4%	221,000	12.3%
営業利益	3,415	2,100	71.0%	5,000	46.4%
経常利益	3,653	2,200	63.2%	5,100	39.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,343	1,500	39.9%	3,500	49.4%

実績推移 (連結)



FAシステム 冷熱ビルシステム ICTシステム エレクトロニクス



※注) 2021/3期に報告セグメントを変更しております。
実績は、変更後のセグメントに組み替えて作成しております。

※注) 全社費用は含まれておりません。

財務の状況（連結）



【財政状態】

	2020/3末 (百万円)	2021/3末 (百万円)	増減
総資産	128,304	125,529	△2,774 百万円
負債合計	60,746	55,609	△5,136 百万円
純資産	67,557	69,919	+2,362 百万円
自己資本比率 (%)	52.5%	55.6%	+3.1 point

【キャッシュ・フローの状況】

	2020/3期 (百万円)	2021/3期 (百万円)
営業活動CF	5,938	1,939
投資活動CF	△518	183
財務活動CF	△2,281	△1,052
現金及び現金同等物	20,165	21,120



3. 今後の経営戦略

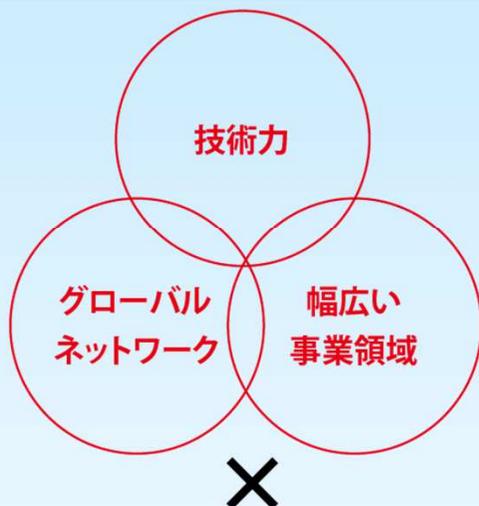


RYODENの価値創造モデル

菱 電 商 事

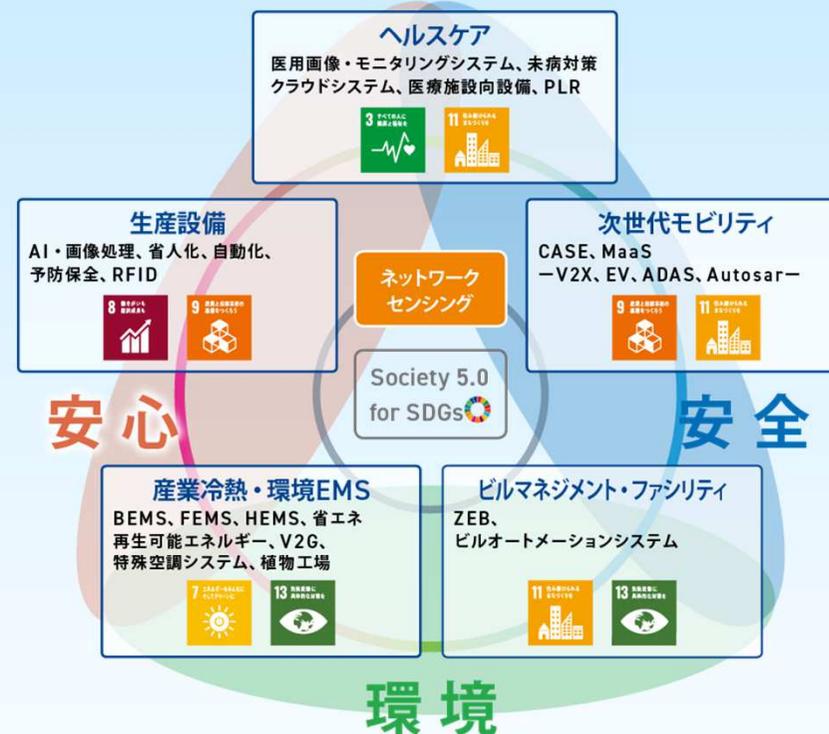
強み

注力推進分野で創出する価値



DX

中期経営計画
(2020年度～2024年度)
ICHIGAN2024



事業推進基盤の強化

コーポレートガバナンス

人材マネジメント

環境マネジメント

中期経営計画「ICHIGAN 2024」 戦略テーマ



環境・安心・安全でサステイナブルな社会の実現に貢献

代理店、商社の枠を超えた事業創出会社として
新たな価値を生みだし続ける

3つの成長エンジンのためのDX推進



支社体制の再編…10支社から3支社へ
DX戦略推進室の設置

2024年度業績目標

営業利益

100 億円以上

新事業売上

18年比 150 億増

新事業総利益率

18%

営業利益率

3.8%

ROE

8.0%

環境ビジョン制定

2020年4月1日、2030年までの環境ビジョンを制定しました。

菱電商事グループ環境ビジョン

菱電商事グループは 2030 年までに

「脱炭素社会への
取り組みを強化する」

【重点取り組み】

- ・ 電力使用に関する温室効果ガス排出ゼロへ挑戦する
- ・ ZEB 等の環境負荷軽減に寄与するソリューションを提供する

「製品ライフサイクル思考に
貢献する環境ソリューションを
創出し環境価値を増大する」

菱電商事グループが
事業活動で目指す
重要なSDGs目標



脱炭素社会に向けた当社の新しい取り組み

スマートアグリ事業：次世代植物工場



- ※ **メガソーラ**太陽光発電設備を設け、植物工場で完全自家消費
- ※ 環境制御の新設備及び統合IoTシステム(REMCES)による大幅な省エネルギーの実現
- ※ 加工冷凍設備、還元式ゴミ処理設備による食品ロス低減

栽培室の**購入電力量**…従来比50%削減
植物工場の温室効果ガス排出削減量…年間1,764トン削減

(参考：当社グループが2020年度に排出した温室効果ガス…年間1,495トン)

次世代植物工場



脱炭素社会に向けた当社の新しい取り組み

◆ クラウド型統合管理IoTシステムの一般展開

 **Remces** はモノ作りから人々の暮らしまでをサポートする
RYODEN オリジナルのIoTプラットフォームです。

- 特徴
- ・ クラウドシステム採用による遠隔可視と高い拡張性を実現
 - ・ 機器、環境情報の一元管理と制御による省人・省力化
 - ・ オープンインターフェース採用によりマルチベンダー接続に対応



脱炭素社会に向けた当社の新しい取り組み

当社事務所使用電力をクリーン電力への切り替え

当社が所有する太陽光発電所(宮城県栗原市)を活用して実現



温室効果ガスを排出しない
クリーン電力への切り替え



※本社ビルは8月16日からクリーン電力へ切り替えが決定

→その他事業所も順次進めていく予定



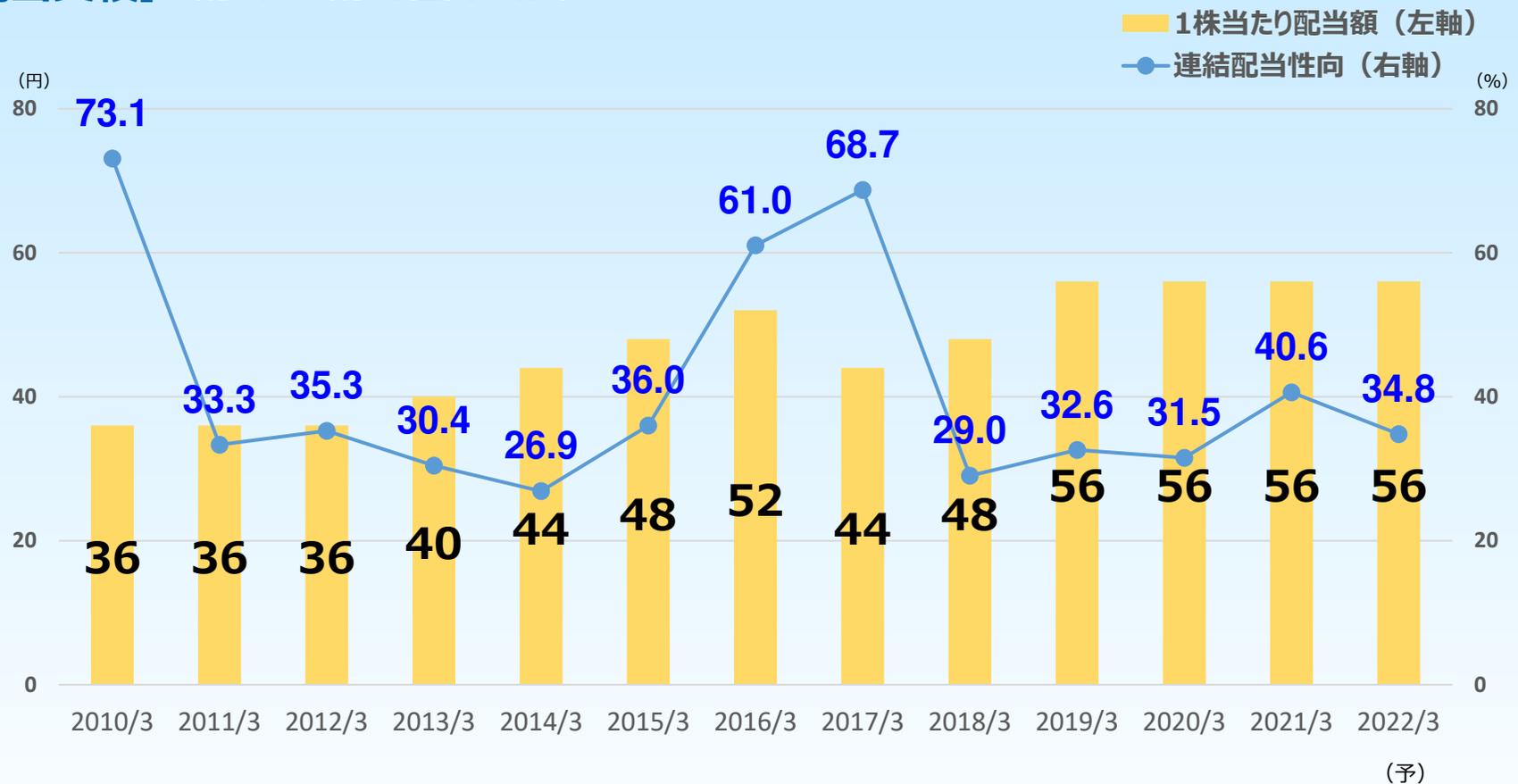
4. 株主還元と株価推移



株主還元 ① 配当金・配当性向の推移



【配当実績】 配当金・配当性向の推移



株主優待制度のご案内

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式1単元（100株）以上保有の株主様を対象

【優待内容】 保有株式数および継続保有年数に応じて、金券（クオカード）を贈呈

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
100株以上 1,000株未満	クオカード 2,000円分	クオカード 3,000円分
1,000株以上	クオカード 3,000円分	クオカード 5,000円分

*「継続保有期間3年以上」とは、毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録され、かつ3月31日現在の株主名簿に、同一の株主番号で連続して4回以上記載または記録された場合とします。
なお、継続保有期間の算出は、初回の基準日となる2020年3月31日より開始します。

【贈呈時期】 毎年6月送付の「定時株主総会招集ご通知」に同封

株主還元 ③配当シミュレーション



1株当たり年間配当額 **56円** (2022年3月期予想)

株価 **1,756円** (8/17終値) 単元株 **100株**保有の場合

予想配当利回り \div **3.19%**

株主優待を考慮した場合の100株保有の実質利回り

①年間配当額 5,600円

②年間株主優待相当額 2,000円 (3年未満)

① + ②合計 7,600円 / 175,600円 \div **4.33%**
(配当利回り + 優待利回り)

予想配当利回りにつきましては税引前の金額を対象としています。
ご購入の際に必要な、証券会社売買手数料などは含んでおりません。
株式ご購入の際手数料などにつきましては、お取引の証券会社にお問い合わせください。

株価推移

株 価	1,756円	実質利回り	4.33%	時価総額	400億円
単元株数	100株	予想配当利回り	3.19%	予想PER	10.9倍



お問い合わせ先



〒170-8448 東京都豊島区東池袋3-15-15

総務部

e-mail:ryoden_ir@mgw.ryoden.co.jp

TEL:03-5396-6111

FAX:03-5396-6448

資料の取り扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられている業績計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりです。

- ・主要市場（日本、アジア等）の経済状況、消費動向及び製品需給の急激な変動
- ・ドル等の対円為替相場の大幅な変動
- ・資本市場における相場の大幅な変動等